



北東中だより



時間は有限 使い方は無限 良いお年を **NO. 8**

文責 仙洞田茂雄

平成29年度 生徒会役員選挙



12月9日、二葉会立会演説会が行われました。平成29年度の生徒会役員を決める重要な選挙は、熱気あふれる演説・討論の中、全校生徒が真剣に候補者を選ぼうとする姿に、成長を感じることができました。早朝から校舎前に立ち、昼休みの時間もなく、帰りには各学級を巡り、選挙運動を繰り返していました。「おはようございます。〇〇候補には〇〇をよろしく願います。」という元気な声が学校中に響き渡っていました。

立候補者はもちろんですが、責任者や応援の皆さんの気持ちのこもった選挙運動が展開され、2学年の意気込みが感じられるものでした。どの候補者も北東中学校をどんな学校にしていきたいのか、どこを変えていけば良いのか、しっかりと考えた考えを持ち、来年度の北東中学校生徒会を安心して任せられることができると強く感じました。そして、立候補した皆さんの誠実でひたむきな姿に私は感動を覚えました。選挙当日は、立会演説会や討論会を経て、投票が行われました。候補者、責任者、応援して協力してくれた皆さんの活動の姿は大変立派でした。また、選挙管理委員の皆さんも手際よくその責任を果たしていました。選挙の結果、来年度会長に小澤明門君、副会長に小林幹治君と輿水奏羽さんが選ばれました。来年度の二葉会・全校生徒の成長を大いに期待しています。3名の決意を聞きました



生徒会長 小澤明門

「生徒会役員」とは全校生徒の代表として活動していく役員のことをいいます。僕はその全校生徒の代表として活動するにあたって、生徒会長として、また一人の生徒として、北東中の名に恥じぬように活動していきたいです。僕自身としては一つ一つの行動の当たり前のレベルを上げていきたいと思っています。何か活動をして大きな成果を得るにはまず、基礎的なことができていなければいけないと思います。

僕が選挙活動の中でも提唱してきた「三つのわ」、「あいさつの輪」「生徒同士の対話」「学校生活の調和」を通して学校生活の充実を図るとともに、日常生活で当たり前のことが当たり前にできる学校作りを心がけていきたいと思っています。応援して下さった全ての方々に感謝の気持ちを忘れずに全力で頑張っていきます。

副会長 小林幹治

このたび副会長に当選した、小林幹治です。私はこの北東中学校を、将来を見据えた中学校に変えていきます。演説やクラス訪問でも言いましたが、時間を守ることや、あいさつをすることを徹底し、みなさんの将来に向けた取り組みを行っていきたくと思っています。そして、今まで、受け継がれてきた伝統をさらに発展させ、より良い北東中学校にしていきたいと考えています。また会長の小澤さんや、女子副会長の輿水さんとも協力し、リーダーとして北東中を支えられるように頑張りたいと思います。最後に責任者の長田さんをはじめとする、私を支えてくれたすべての人に感謝の気持ちを忘れずに、学校のために精一杯頑張りたいと思います。よろしく願います。

副会長 輿水奏羽

「原点回帰」この言葉を大切に、自分が今一番大切なもの、そして学校にさらに必要なものを考え、たくさんの人に支えられ選挙活動をさせてもらってきました。

私は、抜けているところも多いし、これからどんな仕事をしていくのかまだよくわかりません。ですが、支えてくれる人に感謝する気持ちを忘れずに、生徒会の仲間に迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、何事にも一生懸命にやってみようと思います。そのために、まずは北東中のリーダーにさせてもらったという自覚を持ち、北東中生にふさわしい行動と、考え方もつづけていきたいと思います。

全校のみなさんが楽しく過ごせる学校を作れるよう会長を支え、生徒会の仲間、全校のみなさんと一緒に頑張ろうと思います。何事も根性でやり抜きます。これからよろしく願います。



地域とともに・・・清掃活動を活発に！



11月23日(月)、相川地区、富士川地区、新紺屋地区それぞれの地区で行われている地域清掃に、生徒と職員が参加しました。早朝の武田神社で始まった清掃活動には、小学生、保護者、地域の方々も集まり、本校生徒と一緒に清掃をしている姿に、伝統の重みと温かさを感じました。その後、護国神社での焼き芋が行われたことで、生徒もうれしかったことと思います。一方、富士川地区では、グラウンドの隅の枯れ木の除去や、施設の清掃等が



行われ、生徒も自主的に清掃活動に取り組んでいました。新紺屋地区では、八幡神社の杜の大量の落ち葉をゴミ袋に拾い集め、みんなで焼き芋づくりを



しました。爽やかな気持ちで、それぞれの地域を回り、あらためて子どもたちは地域の中で育てているんだと感じました。地域とのつながりが希薄になってきていると言われる昨今ではありますが、この北東地域では、まだまだ皆さんで協力して街づくりが行われていると思えました。



今後は少子高齢化の時代を迎えますが、現在の中学生が地域で果たす役割、果たさなければならない役割を考え行動できるように、地域に根ざした教育を推し進めていくことができるよう取り組んでいきたいと思えます。



小中連携事業 小学校からの訪問

これまで、小中連携事業として、夏には小中学校の先生の合同会議をし、情報交換や合同あいさつ運動等の連携事業を行ってきました。12月13日(火)には、新紺屋小学校6年生児童が、学校見学を行いました。中学



生の授業や、学校の紹介ビデオ、部活動見学を行いました。今回は生徒によるものではなく、小学校の校外学習の一環で行われたものです。今後は同様に相川小学校の訪問もあり、3学期には生徒による合唱や、学校紹介、中学校教師による出前授業を検討しております。小学生が安心して中学生になれるように、小中連携事業を展開していきたいと思えます。以下は小学生の感想です

私が北東中へ訪問して驚いたことは二つあります。一つは、部活動です。柔道とバトミントン女子は県で準優勝していて優秀な選手がたくさんいることがわかりました。私もバトミントンに入りたいと考えているので頑張りたいと思えます。二つ目は「移動科学館」です。ノーベル生理学医学賞を受賞した大村先生の発見したアベルメクチンやイベルメクチンについてまとめたパノラマはわかりやすく書いてあってとても勉強になるものがあるんだなと思えました。他にも飯田蛇笏など有名な短歌や俳句などが身近にあって良いなと思えました。入学するのが不安だったけど、早く中学生になりたいと思えました。あと3か月で中学生。小学校のまとめと中学校へ入る準備をしつかりしたいと思えました。



小中連携事業 小学校で自主学習ノート展示



今年度も、北東中生が現在取り組んでいる「自主学習ノート」の展示を各小学校で実施することとなりました。学校では提出率毎日80%を目標に取り組んでいます。それぞれが工夫して取り組んでいる一部ですが、真剣にノートを見て考えている児童の皆さんの姿が印象的です。家庭学習の習慣化はいつの時代でも大切です。自ら学ぶ



姿勢が充実した学校生活や自分の生き方につながっていくものです。小中学校のつながりがスムーズにいき、安心して、そして夢をもって入学できるよう、今後も更なる連携事業を展開し、充実した義務教育9ヶ年を送れるようにしたいと考えています。



2016年が終わる 北東中学校の風景から



玄関に現れた森の妖精達

1年生学校林活動 11月



現在、生徒玄関には1年生が学校林活動で伐採した木で作成したオブジェが並んでいます。「トントウ」と呼ばれる北欧フィンランドに伝わる森の妖精達です。生徒一人ひとりが思い思いの顔を描いたとてもかわいい作品です。フィンランドの森や、人間が住む家や小屋などに住み込んでいるというトントウ達は、人間に対してとても好意的な存在で、その家の住人がいつも楽しく過ごせるように、火事や病気から守ってくれているという言い伝えがあります。フィンランドではクリスマスが近づくと「幸運が訪れますように」という願いを込めてトントウを飾るそうです。



北東中の皆に、幸運が訪れるよう願っています。

美化園芸委員会委員会の活動 12月

校舎周辺環境づくり



北東中では、2学期の締めくくりの活動の一つとして、生徒会の美化園芸委員会が中心となり、玄関前のプランターや花壇にパンジーが植えられました。また、今年は、何年かぶりに中庭をきれいにしました。そこにも美化委員会がビオラを植え、きれいな庭園に生まれ変わることができました。これから厳しい冬を迎えますが、春にはきっと今よりきれいに花が咲くことでしょう。美しい花の下には、しっかり

根が張っていることを私達は忘れてはいけません。

「夢はでっかく根は深く」「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ」 そんな相田みつをさんの詩を思い出しました。

下旬には、三層楼磨こう活動も展開されました。普段の清掃以外に、窓のさんやガラスふき、床や壁の汚れ落とし、普段出来ない所を重点的に取り組み、意欲的に清掃活動している姿がとてもさわやかでした。

学校も1年の汚れを落とし、いよいよ新年を迎える準備ができました。年の瀬を迎え寒さも厳しくなりました。1年を終えるにあたり、家の中もきれいにし、身も心も気持ちよく新しい年を迎えたいものです。



移動文学館 宮沢賢治スタンプラリー 挑戦者24名に

図書委員会の活動 10月～11月

学校図書館、図書委員会の取り組みの中、10月から行われた県立文学館との連携事業「宮沢賢治の世界」を展示してきました。宮沢賢治の文学に触れ、宮沢賢治の本をどれだけ読むことができるかを呼びかけ、約2か月の期間中に挑戦しようという企画でした。全校生徒で一番多かったのは12冊、2年3組の望月愛響君でした。以下は5冊以上挑戦し、校長から絵と記念品を渡しました。これからも、多くの本に触れ、豊かな感性と創造力を磨いてほしいと思います。

スタンプラリー5冊以上挑戦者 おめでとう！

- 深澤智弘 5冊 (1-1) 末木杏理 6冊 (1-1) 小田切順星 5冊 (1-2) 岩間海月 6冊 (1-2)
 芦川瀬那 6冊 (1-3) 吉田はるか 5冊 (1-3) 富元詠心 5冊 (2-1) 武井大和 6冊 (2-1)
 田辺早記 10冊 (2-1) 杉山隼之介 5冊 (2-2) 隠崎けい 6冊 (2-2) 保坂柚子巴 5冊 (2-2)
 前 佑奈 2冊 (2-2) 山部伸乃輔 5冊 (2-3) 望月愛響 12冊 (2-3) 太田晴葉 10冊 (2-3)
 堀内セラ 9冊 (3-1) 小山晴叶 5冊 (3-1) 宮井賢人 5冊 (3-1) 鈴木耀太 9冊 (3-2)
 新福まい 5冊 (3-2) 中澤玲美 10冊 (3-2) 望月美南 5冊 (3-2) 高添 遥 10冊 (3-3)



自分自身と向きあう冬休みを



2学期が終わり、冬休みがはじまります。新しい年を迎える準備に追われますが、良い年を迎えるためにも、今年1年の反省をしておくことが重要です。学校や家庭での学習・生活面はどうだったのか振り返ってみましょう。

11月に山梨県教育委員会では、確かな学力をつけるためには家庭学習が重要であると「学びの甲斐善八か条」（左記表紙パンフレット）が全県のご家庭に配布されました。子どもたちの家庭学習の改善策として、その大切さとポイントを示したものです。「八」はその形から末広がりを表す幸運の数でもあり、冊子表紙にある、方位磁針は方角を示す器具です。この冊子は子どもたち自身の未来の方向を指し示し、一人一人の夢に向けた歩みや、山梨の家庭学習文化づくりにつながることを願って作成されました。ご家庭でも参考にしてほしいと思います。

冬休みは短い期間ですが、様々な地域・伝統文化・行事が多くあります。よく「1年の計は元旦にあり」と言われるように、物事の始まりであり、決意する時でもあります。3年生は受験の追い込みの時期でもあり、不安や悩みもあるかと思いますが、最後まで気を抜かず、健康に気をつけて頑張してほしいと思います。また、1・2年生も最後の3学期に向け、目標をしっかりとって取り組んでいきましょう。



新年に櫻（たすき）を繋ぐ

早朝、夜が明けきらない中、山梨学院大学陸上部が息を切らしてすれ違う。何を思い、何を考え走っているのだろうか。選ばれなかった仲間への思い、親、お世話になった人への感謝、これまでのつらい練習を結実させる強い思い、淡々と白い息をはきながら走る学生のその背中には、決意と勇気が見えてくる。

その山梨学院大学は1995年を最後に優勝から遠ざかっている。新年2017年1月2日、県民の期待を胸に、総合優勝を目指す箱根駅伝はスタートする。

「夢」を持てば心が変わる
「態度」が変われば行動が変わる
「習慣」が変われば人格が変わる
「運命」が変われば人生が変わる

「心」が変われば態度が変わる
「行動」が変われば習慣が変わる
「人格」が変われば運命が変わる

「山梨学院大学陸上部 上田監督の講演より」

真摯（しんし）に自分と向きあうことで、大切にしなければならないことや自分自身が見えてくるものです。293名1人ひとりが思いを繋ぎ、新年のスタートがしっかりきれるよう、充実した冬休みを過ごしてほしいと願っています。

2017年を迎える

凜とした空気の中、遠くで聴こえる除夜の鐘・・・1年が静かに終わろうとしています。4月から様々な行事や学習を通し、多くの仲間とともに生徒は成長しました。

保護者の皆様、地域の皆様方には、本校教育活動の充実の為、この1年ご支援ご協力をいただいていたことに心より感謝申し上げます。来る2017年が皆様にとって素晴らしい年になりますように、本校職員一同心より願っております。

今後の予定

1月 5日		3年校長会テスト
6日		3学期始業式 避難訓練
10日		1・2年到達度テスト
16日～19日		3年 三者懇談
27日		第5回PTA学校委員会



